

# 教育情報化コーディネータ( **itce** ) 検定について



社団法人 **日本教育工学振興会**

# 体系的な情報教育の実施に向けて

## －第1次報告－

- 1 情報教育の現状
- 2 これからの公教育の在り方と情報教育の役割
- 3 次期学習指導要領の改訂に向けた提言

平成9年10月3日

情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議

# 情報化の推進に対応した 教育環境の実現に向けて

## —最終報告—

- 1 情報化に対応した教育について
- 2 情報化に対応した教育環境等について

平成10年8月5日

情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等  
に関する調査研究協力者会議

# 情報化に対応した教育について

## 1 情報教育の位置づけ

(1) 情報教育の目標とカリキュラムの体系化

(2) 第1次報告における次期学習指導要領に向けた提言

## 2 教育課程の改善の方向と具体的展開

# 情報化に対応した教育環境等について

- 1 学校教育における情報手段活用の基本的考え方
- 2 教育観等々の条件整備に向けての提言
- 3 具体的な改善の方向
  - (1) 教育用コンピュータ等の整備について
  - (2) 学校における情報通信ネットワークの整備について
  - (3) 教育用ソフトウェアの開発及び整備について
  - (4) 指導体制の充実について
  - (5) 学校等を支援する体制の整備について

# 学校等を支援する体制の整備について

1. 都道府県・政令都市の教育センター等や教育事務所等に、学校の情報化を支援するための人材（例えば、情報化推進コーディネータなど）を配置することについて検討すべきである。
2. 情報処理技術者等委託事業の積極的な活用を進める必要がある。
3. 学校においてボランティアの活用を進めていく必要がある。
4. 今後の課題として、情報教育に関するカリキュラム開発や先端的情報技術の活用の在り方等について研究開発を行うセンター的昨日の創設について検討する必要がある。



# 「教育の情報化」 これからの国の施策

平成18年から新たな国家戦略として「IT新改革戦略」がスタートし「教育の情報化」が重要課題として位置付けられている。

## IT新改革戦略

次世代を見据えた人的基盤づくり

ーすべての教員へのIT機器の整備、IT活用による学力向上ー

- 1 教員一人に一台のコンピュータ及びネットワーク環境の整備並びにIT基盤のサポート体制の整備等を通じ、学校のIT化を行う。
- 2 教員のIT指導力の評価等により教員のIT活用能力を向上させる。
- 3 自ら学ぶ意欲に応えるような、ITを活用した学習機会を提供する。
- 4 教科指導におけるITの活用、小学校における情報モラル教育等を通じ、児童生徒の情報モラルを含む情報活用能力を向上させる。



## 実現に向けた方策

小中高等学校等において情報システム担当外部専門家（学校CIO=Chief Information Officer: 情報統括責任者）の設置を推進し、2008年度までに各学校においてIT環境整備計画を作成するなど、IT化のサポートを強化する。

## 評価指標

### 学校における学校CIO及びIT環境整備計画の有無

教育の情報化のさまざまな施策に対して、地域によっては導入されたコンピュータ機器やネットワーク、教育用ソフトウェアがあまり利用されていないケースも出てきている。小中高校への学校CIOの設置が、教育の情報化や情報教育の推進に積極的に取り組むきっかけとなることが期待されている。

今回のIT新改革戦略では、評価指標も明確に示されており、学校における学校CIO及びIT環境整備計画の有無を調査報告することが義務付けられる。



# 教育情報化コーディネータとは

## Information Technology Coordinator for Education

**教育情報化コーディネータ**とは、  
教育の情報化の推進にあたって、学校や教育委員会に対して、バ  
ランスのよい立場から、適切に企画、助言をする人材のことである

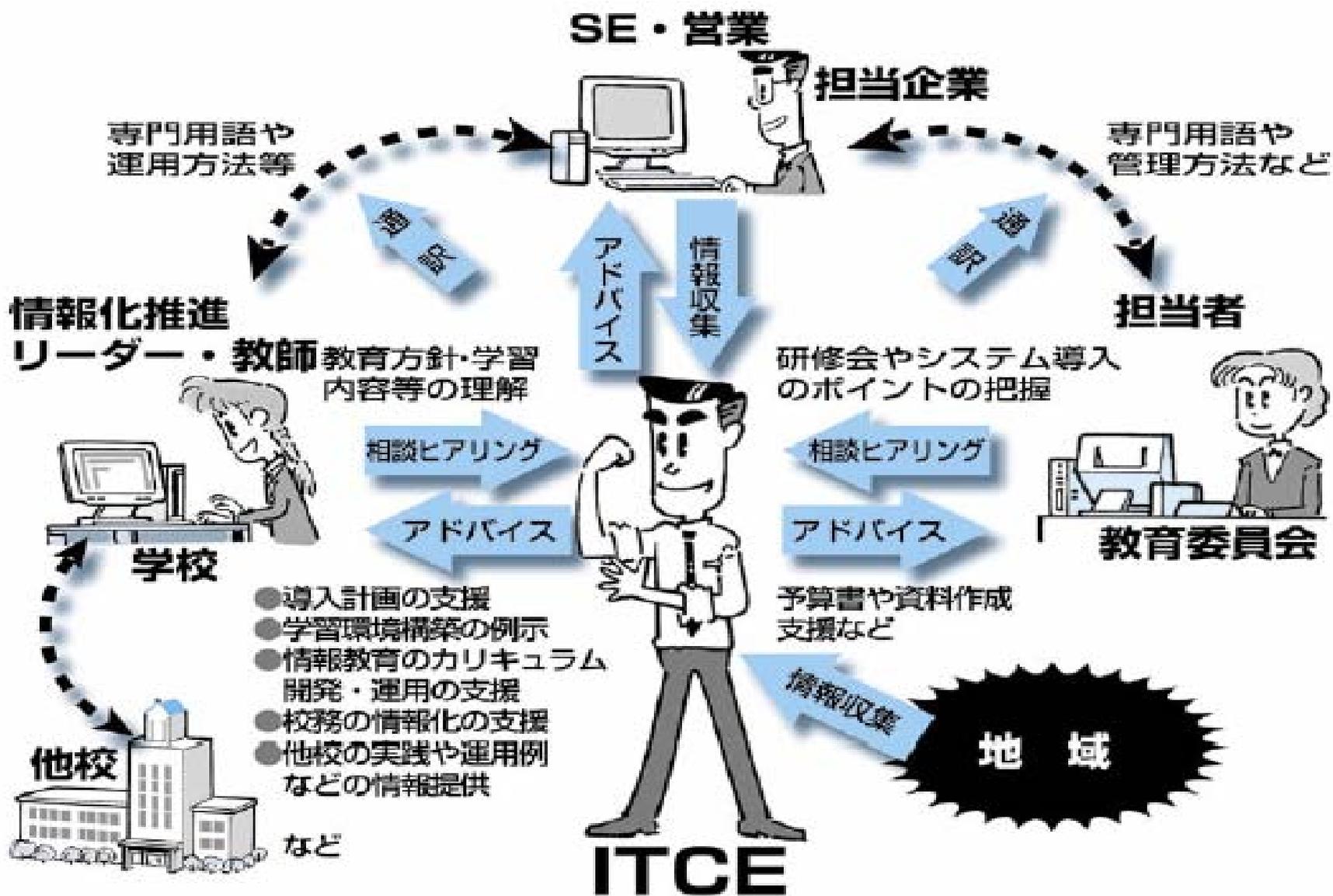
### 「教育の情報化」を具体的にコーディネートできる人材

習得した知識や技能および経験を生かして、

**市町村レベル**での数年単位の情報化を、実際にコーディネ  
ートして設計・助言できる専門家……**2級、準2級、3級**

**学校**で教育の情報化を具体的に推進していく役目を担い、  
現場の先生方をまとめながら分かりやすく導くことができる  
人材……**リーダー**

# ITCE の役割





# 教育情報化リーダーとは

## 学校現場で教育の情報化をリードしていく人材

教育の情報化を推進するための**具体化**を**学校現場**で推し進める人材が必要。

### 「教育情報化リーダー」は

正しい知識や技能を持ち、分かりやすく仲間を導くことができ、実際に現場の先生方をまとめながら、教育の情報化や情報教育を推進していく役目を担う人材。

今後は、校務の情報化をはじめ、職員室や学校全体の情報化、教育委員会、地域との連携などで情報化の推進がますます要求されることとなり、全教職員が意識を高める上でも重要な役割となってきます。

「教育情報化リーダー」には学校の情報化や学校内の研修、情報教育の具体的な推進、教科指導でのIT活用などの具体的な問題に対する実践的な知識や経験が求められています。



# 教育情報化リーダ検定は

学校現場で

教育の情報化をリードしていく人材を認定する制度

「教育情報化リーダ検定」は、

学校の情報化を推進する校内リーダに必要な知識や技能、資質を認定する、教員向けの検定試験

試験では、

- ★教育の情報化に関する政策・施策
- ★ICTを活用した授業の方法や教材の準備
- ★情報モラル
- ★ネットワークに関する問題など

学校の情報化に関する幅広い内容が問われます。



# 教育情報化コーディネータ、 教育情報化リーダ 検定制度

**ITCE** 検定制度は、その能力の明確化と社会的な役割を正しく位置づけるために、その技能・資質を認定するための試験制度である

教育情報化コーディネータ 1級

教育情報化コーディネータ 2級

教育情報化コーディネータ 準2級

教育情報化コーディネータ 3級

教育情報化リーダ



# ITCE 検定のレベル

## ITCE1級(指導者レベル)

ITCEとして豊富な経験を持ち国や都道府県レベルの長期的な計画を設計・提案するだけでなく、運用上の問題解決ができITCEの指導者として活躍していける

## ITCE2級(専門家レベル)

市町村レベルで数年単位の情報化計画をコーディネートし、設計、提案、運用支援等ができる専門家

## ITCE準2級(準専門家レベル)

2級を補佐し、市町村レベルでの数年単位の情報化をコーディネータとして設計、助言ができる

## ITCE3級(入門レベル)

ITCEとして必要とされる基本的な概念や専門用語・専門知識が理解でき、学校の情報化を支援することのできる

## ITCEリーダー(活用指導教員)

情報の正しい知識や技能を持ち、実際に現場の先生方をまとめながら学校の情報化や情報教育を推進していくことができる



# ITCE 受験資格と試験内容

## 受験資格

### ITCEリーダー

資格要件なし

### ITCE3級

資格要件なし

### ITCE準2級

- ①3級を取得している者
- ②当該年度中に満25歳になるもの  
両方の条件を満たす者

### ITCE2級

準2級を取得している者  
但し、準2級取得年度から3年間に  
限り有効

## 試験内容

### ITCEリーダー

選択式問題

### ITCE3級

選択式問題「技術編」「学習編」

### ITCE準2級

1次試験

午前選択式問題「知識テスト」

午後小論文(調査・対応・説明能力)

### ITCE2級

2次試験

事前に与えられる課題

プレゼンテーション及び口頭試問



# ITCE 合格者と合格率

ITCE2級〈平成13年～平成18年〉

(単位:人、%)

	受験者	合格者	合格率
ITCE2級	358	132	36.9

ITCE準2級〈平成13年～平成18年〉

(単位:人、%)

	受験者	合格者	合格率
ITCE準2級	887	302	34.0

ITCE3級 〈平成13年～平成19年〉

(単位:人、%)

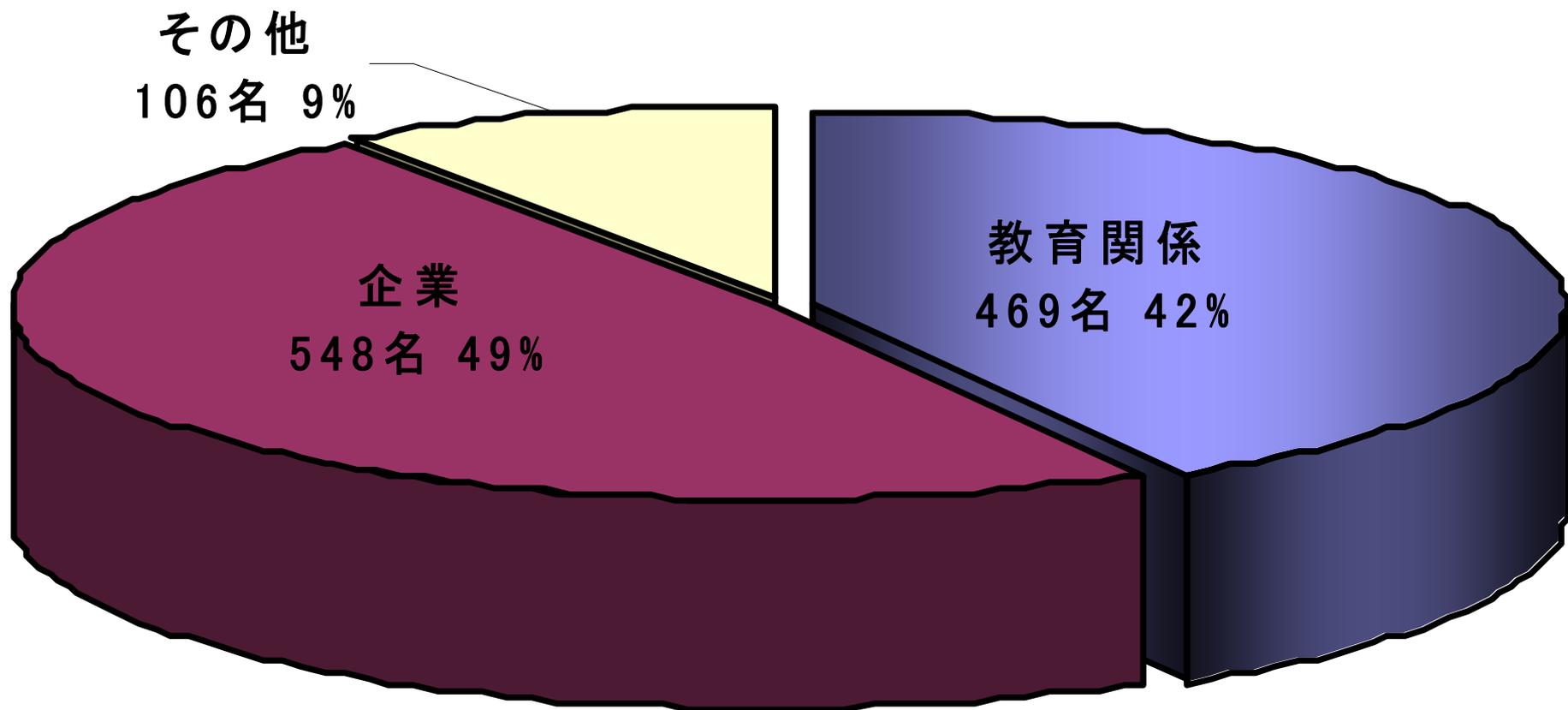
	受験者	合格者	合格率
ITCE3級	3,703	1,128	30.5

ITCEリーダ 〈平成18年～平成19年〉

(単位:人、%)

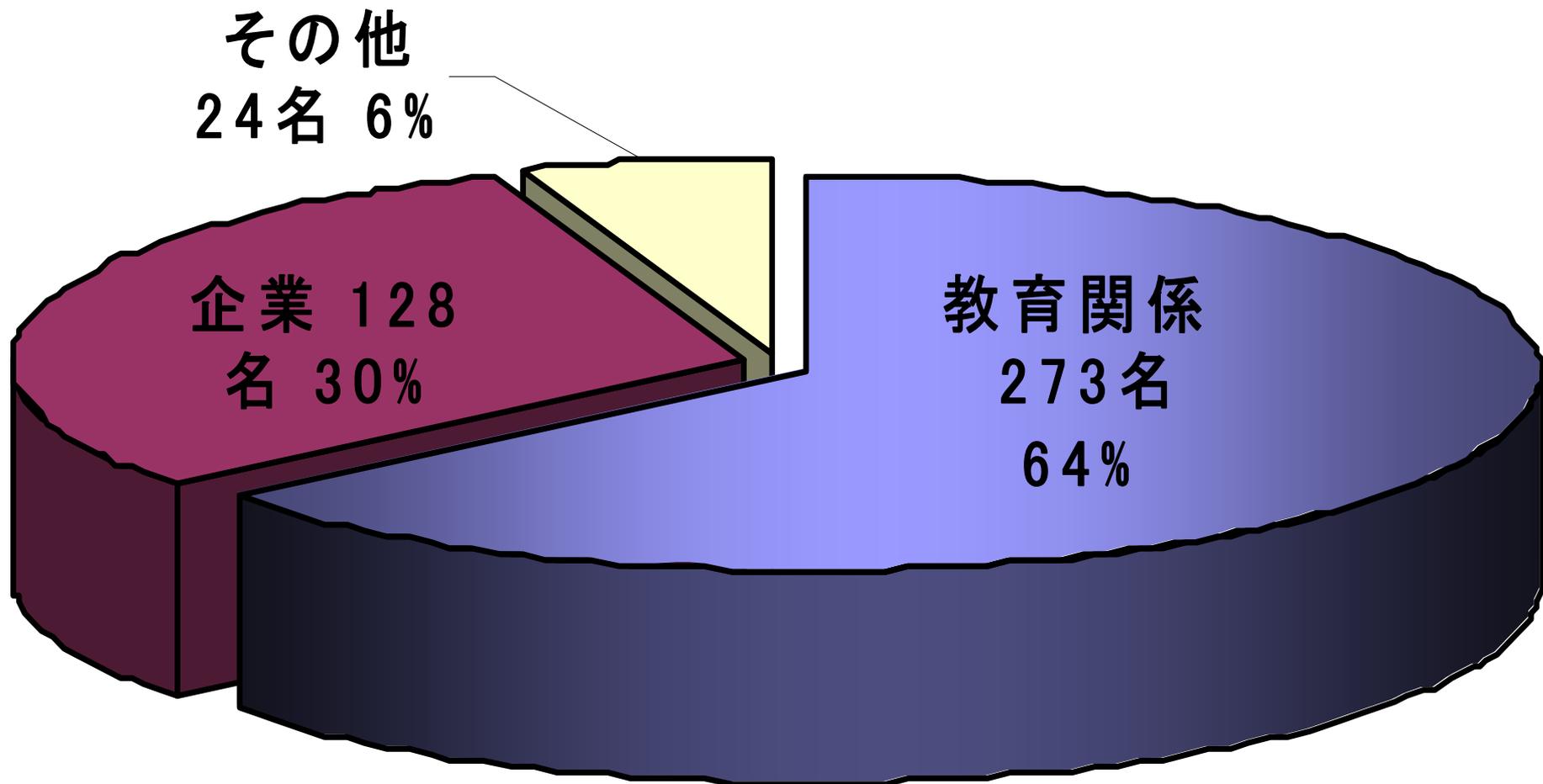
	受験者	合格者	合格率
リーダ	132	132	100.0

# ITCE 3級合格者職業別内訳

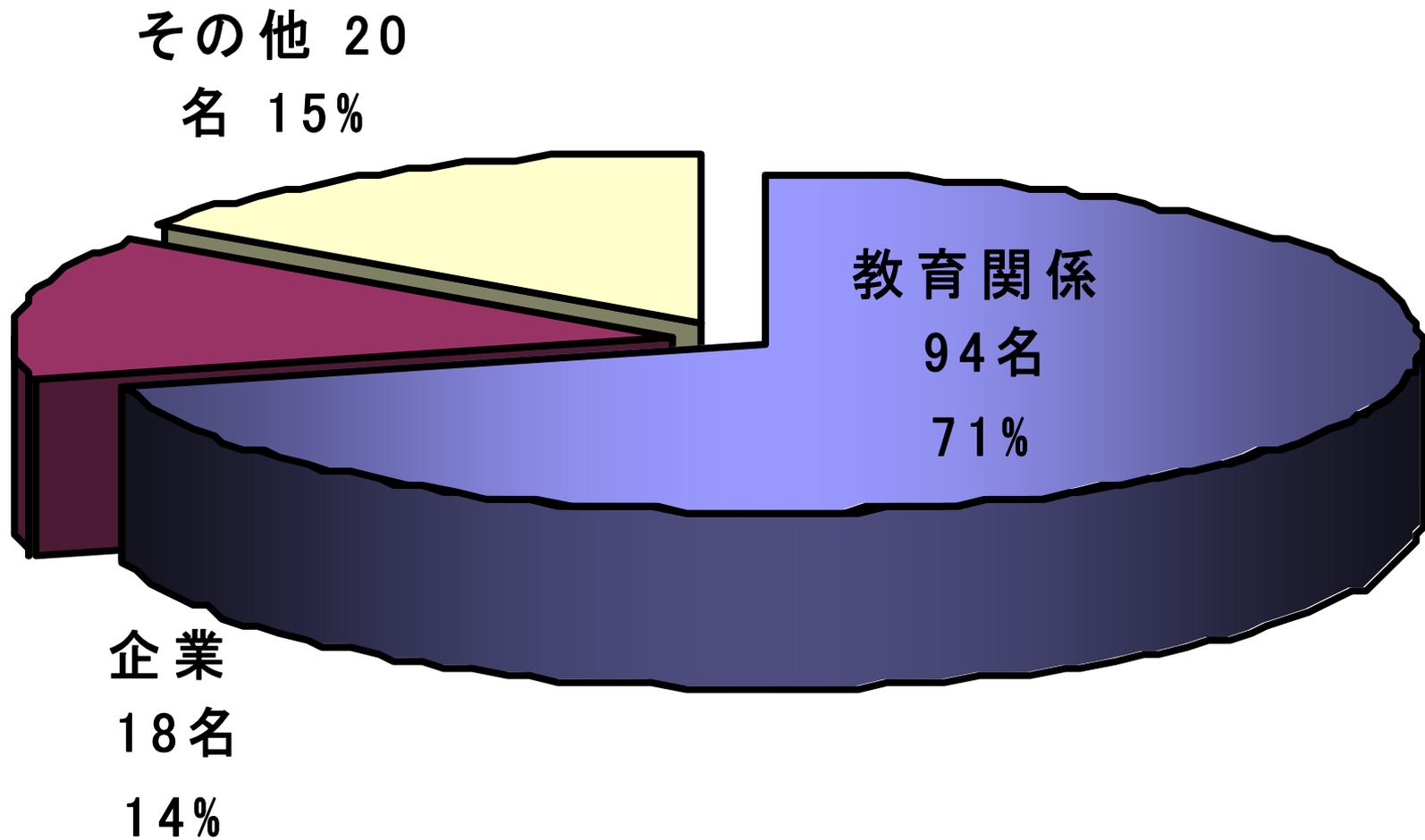


**ITCE**

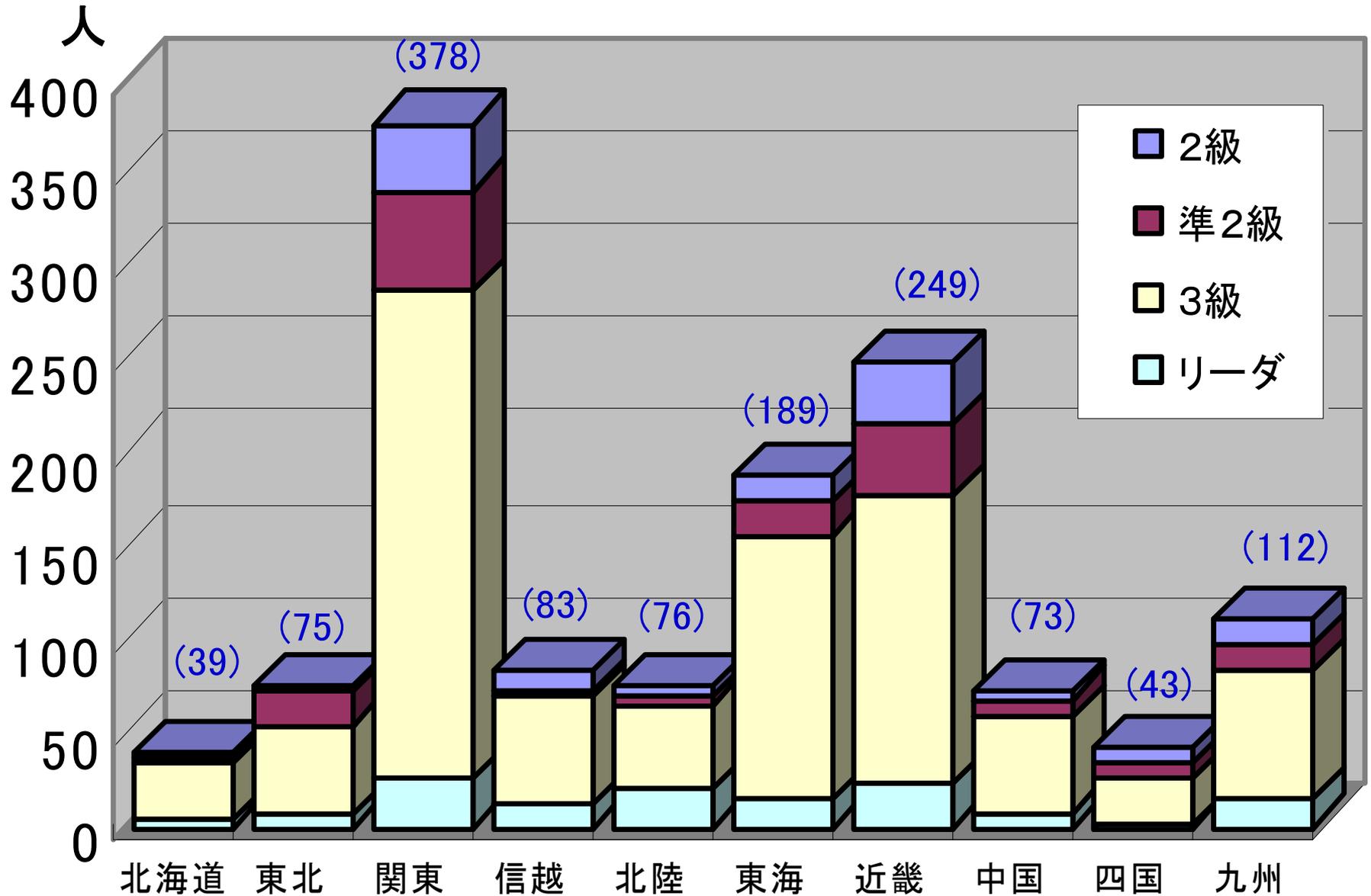
# 2級・準2級合格者 職業別内訳



# ITCE リーダ合格者職業別内訳



# ITCE 合格者の地域分布





# 平成20年度検定試験予定

## 3級・リーダ検定試験

平成20年6月15日(日)

## 2級検定試験

第1次試験 平成20年10月(予定)

第2次試験 平成20年12月(予定)

# 教育の情報化コーディネータ (ITCE)の課題及び今後の展望

## 課題

- (1) 受験者の漸減傾向
- (2) 自治体の体制作りのための予算確保
- (3) ITCE等資格保持者の身分保障と待遇

## 展望

- (1) ITCE2級保持者が、教育機関や企業において指導者として位置づけられている事例が多い
- (2) ICT支援員の統率者として、及び行政との連携能力は、ITCE資格者としての必須条件であり、期待できる。